

2022年8月4日

関西電力株式会社

代表取締役 社長 森 望 様

オール福井反原発連絡会  
原子力発電に反対する福井県民会議  
福井から原発を止める裁判の会  
サヨナラ原発福井ネットワーク  
原発住民運動福井・嶺南センター  
原発問題住民運動福井連絡会

## 老朽美浜3号機の稼働を行う事が無いよう求める申入書

貴殿は6月10日、老朽美浜3号機の再稼働を予定の約2ヶ月以上も前倒しで行うと公表。8月10日を目指して準備してきたにもかかわらず、直前に事故を起こしたことは重大です。また、これまで再稼働の直前や直後に事故・故障が頻発している事実は、重大事故の前兆といわざるを得ません。超老朽化した関西電力美浜3号機を動かして、もしものことがあったら取り返しがつきません。ついては、次の諸点を申し入れます。

1、美浜3号機が重大事故を起こせば、その影響は甚大であり、超老朽原発の再稼働は許されない。よって、再稼働を行う事が無いようにすること。

2、今回の事故原因は、封水注入フィルタ付近の装置の点検や保守整備、配管や部品交換時の溶接ミスやボルト締めの不具合などの施工ミスによるものと考えられる。また、長年の運転により、約320℃で160気圧の高温・高圧の蒸気が流れる主蒸気管が侵食・腐食され、また、他の冷却配管や機器で熱疲労や金属疲労、応力腐食割れなどの損傷や亀裂が起きる危険性が高まっている。

こうした事故・故障は、完全に防ぎきれものではない。それは、原発システムの構造そのものが高度に複雑であり、また、保守点検の完全実行の難しさに加え、電力会社の安全意識の緩みと欠如、さらに、放射線被ばくをともなう危険な作業を下請けに押しつけるという体質によるものと考えられる。

よって、全ての機器について安全総点検を行い、点検データとともに結果を県民に公表すること。

3、NHK 報道によれば、原子炉に冷却水を送るポンプから冷却水の外部流出を防ぐ装置の近くで放射性物質を含む水が漏れているのが見つかり、この装置に取り付けられていた水漏れを防ぐゴム（パッキン）にずれが見つかったが、原因はまだ特定できていないという。関電の原発には同様のゴム（パッキン）は無数にある。よって、水平展開し、全ての原発のゴム（パッキン）を含む装置について安全総点検を行い、点検データとともに結果を県民に公表すること。

以上